

Npop'n えぬぽっぴん

NPO POP NEWS=(略して)『Npop'n』

新宿NPO協働推進センターから、社会貢献活動に関連したPOPなNEWS(話題)をお伝えします!

プロボノの力を借りて課題解決する方法と

今号では、12月17日(土)に開催した交流事業『プロボノとNPOの交流会』の様様を紹介いたします。

職業上の知識やスキルを活かして、社会課題の解決に寄与するプロボノ。一方で、スキルを持った専門スタッフがいない現実を抱えるNPO団体があります。プロボノと適任者が不在のNPOが出会うことで、活動の可能性を考えるとともに、活動する実務家の事例紹介を通じて、プロボノへの理解を深めました。

◆基調講演

曾根 泰夫 氏 (CORACH/HRD人事コンサルタント)

◆応援団体活動事例紹介

阿部 孝 氏 (認定NPO法人 サービスグラント)

白石 和彦 氏 (NPO法人 二枚目の名刺)

渡邊 賢 氏 (BLP-Network)

《基調講演：曾根 泰夫 氏 (COACH/HRD 人事コンサルタント)》

プロボノという言葉はラテン語の「Pro Bono Publico (公共善のために)」という言葉に由来しており、Proは英語でFor (～のための)、BonoはGood (良いこと、善なること)、PublicoはPublic (公共的な) をそれぞれ意味しています。プロボノの役割は、各分野の専門的なスキル・経験等をボランティアとして提供し、社会課題の解決につながる成果をもたらすことです。プロボノ参加者には、一般的な社会人、学生、シニア、コンサルタント・デザイナー・ライター・IT関連エンジニア等様々な職種の方がいます。

プロボノ活動を円滑に進めるためには、中間支援NPOのマネジメントサポートが不可欠です。プロボノ活動を支援するNPOは、プロボノ参加者と支援先になる団体を募集し、お互いのニーズに合わせマッチングを行い、プロジェクトチームを立ち上げ、支援先団体の運営基盤や活動の強化を図ります。

プロボノの活動は、マーケティング調査、Webサイト・パンフレット・ビデオ作成、事業計画立案、業務フロー設計、コンサルティング等多岐にわたります。チームの人数は1名の場合もあれば、数名の場合もあります。また、期間は1日～数ヶ月と様々です。

プロボノに参加するメリットは、業種の異なる様々な会社で働く人々と、フラットな関係で社会貢献のプロジェクトに参加する経験が得られることです。一方、支援を受けるNPOや団体は、経費の負担を軽減でき、かつ団体のあり方や活動について、第三者による専門的なサポートを受けることができます。

《事例紹介①：阿部 孝 氏 (サービスグラント)》

サービスグラントはプロボノを通じて“NPOを支援するNPO”で、主に団体の運営基盤の強化に関しての支援を行っています。提供するプログラムには、チーム型プロボノと個人型GRANTの2つのタイプがあり、それぞれ特徴があります。チーム型は5～6名で編成され、3～6ヶ月の中長期が中心で、年数回の決まった時期にスタートします。プロジェクト内容は、情報発信支援、業務改善支援、ファンディング支援、事業戦略支援の4分野、20のメニューに分かれています。



曾根氏



阿部氏

そのメニューの中から団体が選択し、プロボノワーカーは具体的な成果物を提供します。

個人型GRANTは、プロボノ個人による支援が中心です。期間は2～3ヶ月程度の短期間で、いつでもスタート可能です。プロジェクト内容は、依頼する側が自由に設定できます。個人単位でフットワーク軽く団体を支援できる、いわばプロボノ版ソロ活とも言える仕組みです。

《事例紹介②：白石 和彦氏（二枚目の名刺）》

「二枚目の名刺」とは組織や立場を超えて、社会のこれからを創る“二枚目な社会人”が持つ名刺のことです。単にお金を得るための副業ではなく、自分が楽しむだけの趣味でもありません。社会のこれからを創っていかうという想いを持つ人たちが集まっているのが「二枚目の名刺」です。

「コモン・ルーム」という、いわば説明会のような場所で、様々な背景を持つメンバー達（社会人と団体）が同じ「想い」で繋がることによって、サポート・プロジェクトが発足します。

チームに参加して、価値を生み出すために念頭に置いておくべきことは下記の通りです。

- ①新しいことに意味がある
- ②身の丈を超える
- ③1枚目を言い訳にしない
- ④制約は工夫で乗り越えられる
- ⑤もっともらしい議論より、試行錯誤を選ぶ

社会人がプロボノとして参加する理由・目的は「利他＝誰かの役に立ちたい」と「利己＝自分を成長させたい」が大きいと言えます。

NPOの活動において、仲間を増やすためのポイントは、①活動内容の説明を繰り返すこと、②共に活動する機会を設けること、③協力してくれそうな人を具体的に巻き込むことの3点です。そして、一番大切なことは、団体の「想い」「熱量」だと思います。



白石氏



《事例紹介③：渡邊 賢氏（BLP-Network）》

BLP-Networkは、「Business Lawyers Pro Bono Network」の頭文字から名づけられました。2012年に設立され、メンバーは現在93名（うち弁護士76名）です。「社会課題の解決をともに」をビジョンとし、弁護士とNPO・NGO・ソーシャルセクターで活躍する方々がパートナーとなる機会を提供することをミッションとしています。

支援内容は、NPO法人等の立ち上げ支援、契約書・規約作成、新規事業の法的リスクの検討、アドボカシー活動のサポート等です。相談したい団体は、BLP-Networkホームページの相談フォームを通して内容を伝えていただければ、その課題に対応できるメンバーが支援を引き受けます。



渡邊氏

《トークセッション》

Q1：NPOの活動基盤の強化、ネットワークの強化のためにプロボノ側からの具体的なアドバイスはありますか？

阿部氏：まずは、課題整理のワークショップをるところから始めます。プロボノのチームがヒアリングし、その結果を基に優先順位を整理します。ケースによっては、公助と共助の組み合わせで出来ることもあります。

白石氏：各団体で仲間を作って動き出して、その後にプロボノがチームに入る方が良い。チームが出来上がる前に、しっかり議論して固めることが大事だと思います。

山下氏：組織基盤の強化はそれぞれの団体でスタートして、プロボノと組み合わせていくのが良いのですね。

Q2：NPOの方々への期待や呼びかけがあればお願い致します。

渡邊氏：参加希望の方は、是非ご連絡ください。

白石氏：1回アクションをしないと何も進まない。孤独ではない。仲間がいる。

阿部氏：メールでもなんでも良いのでご連絡ください。一緒に考えていきたいと思ひます。

山下氏：プロボノの仕組みを理解した上で、上手く一緒に活動できると良いですね。

《トークセッションの様様》



NPO団体
紹介!

✧ちよつと気になるNPO団体を紹介します✧

《 FIRST STEP 》 ～ひきこもり・不登校の会～

「親が変われば子が変わる」という考えのもとで団結し、互いに情報を共有し、教え合い、勉強し、相互支援する。そして、信頼できる本物の自立支援のプロフェッショナルを皆で探し出して指導を仰ぐ。この両建てで我が子を自立させ、さらには他の不登校、ひきこもりの家庭を救う活動に取り組んでいます。

当センターで行われる「第163回市民とNPOの交流サロン」にご登壇いただきます♪

開催日時：2023年2月9日(木)18時45分～20時45分 ※是非ご参加ください。

参加方法：オンライン(詳細は<https://snponet.net>)

主催・問合せ：新宿NPOネットワーク協議会

語り手：NPO法人 FIRST STEP

電話：03-5206-6527

Email：hiroba@s-nponet.net

参加費：無料

後援：新宿区

センター利用団体のイベント等の情報

イベント情報は各団体のHP等に掲載されているものを紹介しています。コロナ禍のためイベントが延期や中止になることも考えられますので、詳細については各団体にお問い合わせください。

東京養育家庭の会 「東京里親研修」

日時：2023年3月4日(土)
10:00～12:00

会場：新宿NPO協働推進センター

対象者：一人目の子供を受託して1年以内の家庭

締切：2023年2月15日

募集人数：30名

問合せ：東京養育家庭の会

申込：<https://www.tokyo-yoikukatei.jp/entry2>

【HP】<https://www.tokyo-yoikukatei.jp/>

【Email】info@tokyo-yoikukatei.jp

【電話】03-6820-1152 10:00～16:00



東京都中途失聴・難聴者協会 「人工内耳に関する講座」

日時：2023年2月18日(土)

10:00～16:30 (受付開始 9:30)

会場：中野サンプラザ8階 研修室5・6

参加費：無料

定員：60名

締切：2月13日

対象者：人工内耳について知りたい方

問合せ：東京都中途失聴・難聴者協会

【HP】<https://www.tonancyo.org/>

【Email】info@tonancyo.org

【FAX】03-5919-2563



参加団体募集

～『わっしょい、わっしょい♪まつりだ！NPOのフェスタだ！』～

NPOの皆の衆、わっしょい！わっしょい！声をあげれば、仲間が来る。相談相手がやってくる。支援者が姿をあらわしてくる。各部門へのご応募お待ちしております！

◆A部門「レッツ・チャレンジ！プロジェクト・スタートアップ編」

◆B部門「仲間を集めよう！活動PR編」

◆R部門「ゴールを目指せ！プロジェクト完結編」



2023年3月12日(日)

NPOまつり交流大会

1. NPOボランティア・スキル研修(動画の編集・公開等)

⇒ 12/20(火)終了。ご参加ありがとうございました！

2. オンライン配信 個別相談会

⇒ 12/23(金)終了。ご参加ありがとうございました！

3. クラウドファンディング 個別相談会(予定)

⇒ スケジュール調整中

センターからのお知らせ

講座

【ファシリテーション講座①②】

～対話を通じてチームの力を引き出しどう成果に繋げていくか！～

【講師】長畑 誠氏

(明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科長・教授)

【日時】2月18日(土) 13:30～17:30

【場所】新宿NPO協働推進センター501会議室

【対象者】社会貢献活動、NPO活動に取り組んでいる方、ファシリテーションのスキルを学びたい方。

【定員】会場20名 オンライン40名

【参加費】2,000円(資料代等)

【内容】ファシリテーションとは、話し合いや組織運営のスムーズな進行を促す行動を指します。「メンバーでの議論がまとまらない」「アイデアが出ない」とお悩みの皆さん、多様な人々が参加する話し合いや組織の運営のために、安全安心な場を作り、参加者の自由な対話を生み出しながら、協働を促進する方法を学びます。

- ◆ファシリテーションとは? ◆ファシリテーターとは?
- ◆ファシリテーションの原理 ◆ファシリテーションの原則
- ◆オンラインでのファシリテーション等

※オンライン受講もあります。詳細はHPにてご確認ください

★参加ご希望の方は、電話、FAX、メールにて、下記お問い合わせ先へご連絡ください。
★新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、講座・イベントを延期又は中止する場合がございます。

最新情報等につきましては、当センターHPをご参照ください。

【URL : <https://snponet.net/>】

【申込フォーム】
《オンライン参加用》 《会場参加用》



情報・お問い合わせ

TEL : 03-5386-1315 FAX : 03-5386-1318
Email : hiroba@s-nponet.net URL : <https://snponet.net>
Facebook : <https://www.facebook.com/shinjuku.npo.center>
Twitter : https://twitter.com/s_npocenter

アクセス

〈バスでお越しになる場合〉(いずれの停留所からも徒歩で4分)

- 各線 新宿駅 西口より関東バスで「小滝橋」下車(乗車時間10分前後)
西口地下より標柱番号12・14を上がった乗場から出るバス(すべて)
- 各線 高田馬場駅 早稲田口より都バスで「小滝橋(郵便局前)」下車
(乗車時間5分前後) 早稲田口を出て目の前、高架下の乗場

〈最寄駅から徒歩でお越しになる場合〉

- 東京メトロ東西線 落合駅、西武新宿線 下落合駅より徒歩12分
- JR山手線・東京メトロ東西線・西武新宿線 高田馬場駅、JR中央線 東中野駅・大久保駅、都営大江戸線 東中野駅・中井駅より徒歩15分

作成&発行

新宿区立 新宿NPO協働推進センター
指定管理者：一般社団法人 新宿NPOネットワーク協議会
(〒169-0075 新宿区高田馬場4-36-12)
編集：嶺村富士雄 林幸靖 吉田定信 月岡英人 國府田明子



新宿NPO協働推進センターは、社会貢献活動団体のネットワークづくりの拠点施設です！

センターでは、社会貢献活動団体への施設の貸出しの他、相談や情報提供、講座等、さまざまな事業を実施しています。